

えがお大東っ子 第32号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

AET と進める英語教育



市内中学校8校には、各校にAET（Assistant English Teacher：英語指導助手）が配置されています。主に中学校において、英語担当教員と一緒に授業を進めます。AETの話す英語を聞くことは、生徒たちの英語を聞き取る力を育成します。また、生徒1人ずつと対面して会話をするスピーキングのテストなども行います。

AETは中学校だけでなく、週に1回程度小学校を訪れ、外国語活動の授業を担当と一緒にしています。AETは英語の発音に慣れさせるために、できるだけ英語で話すようにします。最初は何を話しているのかわからない子どもたちですが、何度も聞くことやジェスチャーを見ながら想像することで少しずつ意味を理解していきます。そのようなAETと過ごす外国語活動の時間を、子どもたちはとても楽しみにしています。

平成32年度より小学校では外国語活動が教科となり、今まで以上に充実した指導が求められます。各学校でもAETと協力した授業を推進し、子どもたちの英語力の向上をめざしていきます。

給食を生きた食育の教材に！

市内小・中学校では各校で1名、給食指導担当教員を決めて給食指導や食育の推進を行っています。

小学校では、主に給食についての意見交流や、食育に関する授業研究を行っています。毎年1校を指定し研究授業を行います。今年も8月に研修を行い、「好き嫌いをなくす」ための指導方法について検討し、指導案を作成しました。

小学校では、自校に調理場があり、調理員さんと直接交流ができます。一方、中学校では給食がランチボックスで運ばれ、作り手の顔が見えません。そのため、給食への関心が薄くなってしまいうこともあるようです。そこで給食指導担当教員が毎年6月に給食調理場を訪れ、実際に給食を調理している様子を見学し、調理員さんから給食づくりへの思いを聞き取ります。それを生徒に伝えることで、給食を身近に感じさせ、給食をしっかり食べようとする気持ちにつなげています。

大東市では給食を、栄養を摂取するためのだけの「食事」ととどめず、生きた食育の「教材」と位置づけ、子どもたちの食への意識を高めるための取り組みを進めています。



小学校給食指導担当者会の様子

図書館を使って調べてみよう！

6月28日（火）に、三田市立図書館長の前川 千陽氏を講師としてお招きし、大東市立図書館長の協力のもと大東市立小・中学校の学校司書や教員を対象とした研修を行いました。「図書館を使った調べる学習について」と題して、未来を生きる子ども達に必要な「生きる力」



（自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断する力）を育むために、調べ学習がいかに有効かということや、実際に図書館を使った調べ学習を行う際の進め方、まとめ方等を具体的にお話いただきました。

今年度、大東市市制施行60周年記念事業として、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを大東市立図書館主催で行い、多数の作品が応募されました。子ども達が図書館を読書活動に加え、調べ学習で活用するよい機会となりました。

第11回大東市小中学生 弁論大会のご案内

日時：平成28年11月11日（金）午後2時 開会
場所：サーティホール（大ホール）
内容：テーマ「心をことばに～伝えたい気持ち～」
小学校6年生・中学生、10名による弁論
小学校5年生、12名による1分間スピーチ

小学校6年生1,080名、中学生2,634名の中から選ばれた10名の「弁論」と、小学校5年生12名による「1分間スピーチ“わたしの学校紹介”」の発表です。家庭、地域、学校での「人との出会い」の中で、また「社会の出来事」の中で、小・中学生が心に感じた素直な気持ちをことばにして伝えます。



ぜひ、保護者や地域の皆様のご来場をお待ちしております。

さわやかな、そして心揺さぶる小・中学生の熱弁にご期待ください。

地域ファミリースポーツ 〔住道ブロック大会〕

この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

種目は、毎年実施しておなじみのキンボールに加え、スポーツ推進委員が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。

キンボールは直径122cmの巨大なボールを使い、ピンク・グレー・ブラックに色分けされた3チームがコートに入り、サーブやレシーブを繰り返しながら得点を競います。

また、ボール de ビンゴは、6m先のビンゴ盤の穴をめがけボールをころがし得点を競います。

いずれも1チーム4人で行いますが、1人でも参加できます。日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみたいかがでしょうか？ご家族揃ってのご参加をお待ちしています。

また、グラウンドでは、ゲートボール連盟による講習会を行います。

- ・日 時：平成28年12月4日（日）9:30から
- ・場 所：大東市立住道南小学校 体育館
- ・種 目：キンボール、ボール de ビンゴ
- ・持ち物：体育館シューズ
※水分補給は各自でお願いします。
- ・参加費：無料

「子ども安全見守り隊」活動について

現在、12小学校区内、216箇所で開催登録人数3,995人、1日当たり620人の方が、児童の登下校の安全見守り活動に参加されています。自治会、PTA、青少年指導員、防犯委員、老人会、こども会等地域の方々が、ボランティアで、雨の日も暑い日も、毎日安全に登下校できるように、通学路や交差点などに立って、子どもたちへ声かけをされています。

四條畷警察署の方を講師としての見守り活動の在り方研修や、警察への要望などの意見交流の場を学校で設定していただき、今後の見守り活動が充実していくように取り組んでいます。

地域の皆さんの日々の活動が事故等を抑止する大きな力となっています。



11月は「こころの再生」

府民運動推進月間です！

「こころの再生」府民運動とは、次代を担う子どもたちの豊かな人間性をはぐくむために、家庭、学校、地域、企業等社会全体で、子どもの「こころ」を信じ、守り、育て、鍛える取り組みです。

大人も子どもも今一度、大切な**5つの「こころ」**を見つめ直し、毎日の暮らしの中でできることとして、**7つのアクション**を呼びかけています。



【5つの「こころ」】

1. 「生命を大切にする」
2. 「思いやる」
3. 「感謝する」
4. 「努力する」
5. 「ルールやマナーを守る」

【7つのアクション】

1. 「あかんもんはあかん」と、はっきり**しかろう**
2. 「ええもんはええ」とはっきり**ほめよう**
3. 「**ユーモア**」を大切にしよう
4. 「**あいさつ**」をもっと大切にしよう
5. 「**おかげさんで**」を大切にしよう
6. 子どもの話をじっくり**聞こう**
7. 地域に**どんどん出て行こう**



アクティブ・ラーニングの視点で！

～連載③ 今求められている授業 アクティブ・ラーニング（AL）～

去る8月19日(金)、大東市では「授業力のさらなる向上にむけて」というテーマで、関西外国語大学 教授 新坊 昌弘 先生を講師にお招きし、大東市教育研究フォーラムを開催しました。「今、必要な授業力とは」と題した記念講演の中では、急激に変化する社会において、学力の捉え方が「知識」から「資質・能力」へと移行しているというお話がありました。ここでいう「資質・能力」とは、①生きて働く「知識・技能」、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」、③学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」です。

この「資質・能力」を育むには、アクティブ・ラーニングの視点（主体的で対話的な深い学び）を授業に取り入れることが、有効だと言われています。具体的には、じっくり個人で考える時間を十分とり、確かな知識をもとに他者と交流し、しっかり考えをまとめることのできる子どもを育てる授業をすることです。これは今、大東市が取り組んでいる「学び合う授業づくり」と通じるものがあります。

これからも大東市では、「学び合う授業づくり」を通して、「教科学力」と共に「資質・能力」を身につけ、これからの急激に変化する社会において主体的に対応できる子どもを育てていきたいと考えています。